

国民生活に軸足を回した **シンポジウム** 損保代理店・外勤社員そして共済 の社会的役割を考える

日本の経済社会で立派にブレーキ産業役を果たし、同時に全国の隅々まで代理店制度を通じてセーフティネットを張りめぐらして、国民生活を守り得る力を持ち、代理店の不安を解消し、代理店のフォーカスとなり得る力を持った損保会社が必要だ。損保会社は本業に徹し、代理店をあくまで守って行くという姿勢に徹し、それを実現できる形での結集が行われるなら、日本の現在の損保産業の発展の道が見つかるのではないかと。本当に代理店を守り、海外損保の攻勢にも耐え、料率引き下げ競争のような混乱を正し、損保産業の社会的役割を發揮できるような新しい体制を作る時が来ていると考える。(品川正治さん 1999年10月)

4/24 (木)
18:30~
AAホール2階

この品川さんの提起から10年、損保各社が現実に進めている募集網効率化政策からの乖離をどのように埋めるかという問題意識から、このシンポジウムを企画しました。広くご参加を訴えます。

参加協力費:1000円

特別報告『金融・損保産業の現状をどう見るか』

報告者 品川正治氏(国際開発センター会長、経済同友会終身幹事、元日本火災社長・会長)

基調報告『各社の募集網効率化政策の特徴と問題点』

報告者 松浦 章氏(大阪損保革新懇世話人、兵庫県立大学大学院)

パネル報告『真の顧客サービス提供実現のために』

報告者 各層損保代理店 外勤社員 各種共済役員 損保営業社員のみなさん

主催: 保険と共済を考えるシンポジウム実行委員会

連絡先・事務局) 〒541-0045 大阪市中央区道修町3-3-10 大阪屋道修町ビル3階 大阪損保革新懇
TEL:06-6232-1095 e-mail: ossnpksk@gmail.com URL: <http://www.uranus.dti.ne.jp/~ossnpksk/>

AAホール本館

地下鉄 御堂筋線

「淀屋橋」駅 11番出口より徒歩6分

「本町」駅 1番出口より徒歩6分

地下鉄 堺筋線

「北浜」駅 6番出口より徒歩6分

「堺筋本町」駅 17番出口より徒歩6分

